楽匠Ｓシリーズ　についてのお知らせ

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

さて、弊社製在宅用電動介護用ベッド『楽匠Ｓシリーズ』において、ベッドの各部を動作させるアクチュエータ（モーター）とコントロールボックスを繋ぐケーブルにて通信異常が発生し、ベッドの動作が停止する事例が発生しています。

現在弊社では、対象となるベッドについて対策済のケーブルに交換をお願いしておりますが、万が一、ご使用中に当該現象が生じた場合には、無償にてケーブルを交換させて頂きますので、弊社もしくはベッドの貸与・販売事業者までご連絡を賜りますよう願い申し上げます。

なお、弊社製の電動ベッドは、電動操作時にエラーが発生した場合や電装品に故障が発生した場合、各部の制御を行なうコントロールボックスの安全機能が働き、アクチュエータへの電源供給を停止させる機能を有しておりますので、操作していないのに動くなどの誤動作や、発火・発煙などの恐れはありません。

お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。
今後も引き続き、弊社製品をご愛顧賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹言

本件に関するお問合せ先
パラテクノコールセンター
Ｔｅｌ　０１２０－５４－８６３９
受付時間　９：００～１７：２０（夏季休業、年末年始を除く）

【御参考】

ベッドの故障時以外にもベッドの動作が停止する場合がありますので、ベッドの動作が停止した場合は以下のことをご確認下さい。

- 停電していないか（コンセントに電源がきているか）
- ベッドの電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか
- 手元スイッチの「入／切ボタン」によりベッドの電源が「入」になっているか、
  また、手元スイッチの操作が禁止になっていないかどうか
- 手元スイッチにエラー表示がでていないか
  ＬＥＤタイプの手元スイッチの場合、電源ランプが点滅します。
  液晶タイプの手元スイッチの場合、Ｈ＊又はＵ＊（＊は数字）が表示されます。

手元スイッチにエラー表示がでている場合は、取扱説明書の【１６故障かな？と思ったら】をご参照いただき、ご確認くださいますようお願い申し上げます。それでも復帰しない場合は修理をご依頼下さい。

（ベッドの背は手動で平らな状態に戻すことができます。詳しくは取扱説明書をご確認下さい）

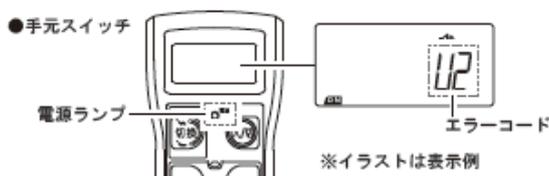
16 故障かな？と思ったら

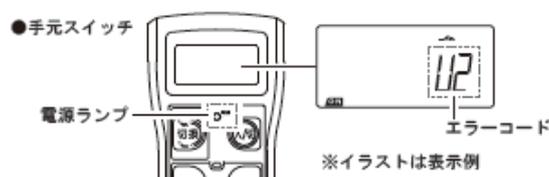
■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

■チェック･処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（101 ページ参照）まで修理をご依頼ください。

■以下の症状により､電動で背さげをできない場合は､手動で背さげを行ってください。（79～80 ページ参照）

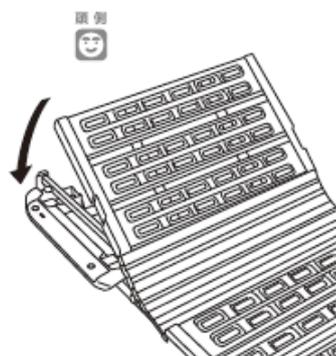
■地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（101 ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、ベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

■故障や一時的異常の場合は液晶表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードをご確認ください。
※エラーコードはらくらくモーションシリーズのみ表示します。

状態（症状）	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
●操作ボタンを押しても、ベッドが動かない。	消灯	–	●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。	–
			●電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	●コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気が来ているかを確認してください。	–
	常時オレンジで点灯	–	–	●入 / 切ボタンを押して、手元スイッチの電源を「入」にしてください。	20
	操作ボタンを押したときだけ、オレンジで点灯	–	–	●全禁止スイッチを押して、手元スイッチのロックを解除してください。	26
	緑で点灯	–	●押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	●動作部位選択スイッチを操作して、ボタン操作を有効に設定してください。	27
	常時赤で速い点滅（0.2 秒毎）	H2・H3・H6	–	●一度電源プラグを抜き、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差込んでください。	–
	ボタンを押したときだけ、赤で速い点滅（0.2 秒毎）	H1	●連続使用しましたか？	●約 20 分間放置してコントロールボックスが冷えるのを待ってください。	–
		H4・H5	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。	–

16 故障かな？と思ったら

状態（症状）	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
●操作ボタンを押しても、ベッドが動かない。	ボタンを押したときだけ、赤で遅い点滅（1 秒毎）	U0	●電源プラグをコンセントに差込んだときに、操作ボタンが押されていませんか？ ●入／切ボタンを押して手元スイッチの電源を入れるときに、操作ボタンが押されていませんか？	●押されているボタンを離してください。	−
		U1	●可動部分に障害物はありませんか？	●障害物を取り除いてから、操作を行ってください。	−
		U2	●ベッド上で電子治療機器などを使用していませんか？	●電子治療機器などを使用する場合は、電源プラグを抜いてからご使用ください。通信状態の異常を検知する保護機能が働いた場合があります。故障ではありません。	−
		U3・U4	●連続使用しましたか？（アクチュエーターが過熱すると、保護機能が働き動作が停止する場合があります）	●約 20 分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。（完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。完全に冷えるまで放置してください）	−
●操作したボタンと異なる部位が動作する。	緑で点灯	−	●頭（足）のあげボタンを押したときに、膝（背）もさがりましたか？	●角度制限機能が働いているためで、故障ではありません。	21、23
			●らくらく動作表示 ON が点灯していませんか？	●背ボトムの動作がらくらくモーションに設定されています。故障ではありません。	21 ～ 22
			●アクチュエーターが正しく配線されていますか？	●アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作を行ってください。	52 ～ 53
●手元スイッチの点検お知らせ表示（ランプ）が点滅している。	−	−	−	●手元スイッチの交換時期であることを表示しています。販売店またはパラテクノコールセンター（101 ページ参照）までご連絡ください。	29

●修理のご依頼やお問い合せの際は、製品識別表示ラベル（43 ～ 45 ページ参照）に表示された番号もあわせてご連絡ください。

14 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1. 背さげのしかた

■停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。背さげ操作は、以下の手順で行ってください。
停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、82 ～ 83 ページの「16 故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター(101 ページ参照)までご連絡ください。

⚠ 注意	●作業は必ず2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

❶ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

❷ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

❸ヘッドボードを取外してください。（86 ページ参照）

❹背ボトムと背あげリンクを支えてください。

⚠ 注意	●背膝連動に設定している場合は、背あげリンクをしっかりと持って操作してください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

❺背アクチュエーターの先端の連結ピンについているスナップピンを取外してください。

❻連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと背あげリンクが自由に動くようになります。

●取外した連結ピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。

❼背あげリンクを降ろしてから背ボトムをゆっくり降ろしてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。

●この作業を行ったときは、復帰作業を行って元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。